

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 7DR

1 609 92A 7DR (2021.12)

GCB 120



取扱説明書

このたびは、弊社バンドソーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

| | |
|---------------------------|----|
| ●安全規則..... | 2 |
| 警告表示の区分 | 2 |
| 一般安全規則..... | 2 |
| 記号について | 7 |
| ●安全上のご注意..... | 8 |
| コード式電動工具全般についての注意事項 | 8 |
| バンドソーについての注意事項 | 12 |
| ●本製品について..... | 15 |
| 用途..... | 15 |
| 各部の名称..... | 16 |
| 標準付属品..... | 18 |
| 仕様..... | 19 |
| ●使い方..... | 20 |
| 作業前の準備をする..... | 20 |
| 作業する | 32 |
| ●お手入れと保管..... | 45 |
| クリーニング..... | 45 |
| のこ刃のお手入れ | 45 |
| 保管..... | 46 |
| 電動工具の廃棄について..... | 46 |
| ●困ったときは..... | 47 |
| 故障かな?と思ったら..... | 47 |
| 修理を依頼するときは..... | 48 |

安
全

つ本
製
品
に
て

使
い
方

保
お
手
入
れ
と
管

困
っ
た
と
き
は

安全規則

安

全

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

- 危険** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
- 警告** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- 注意** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般安全規則

警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式(コード付き)電動工具または、電池式(コードレス)電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

安

全

b) 電氣的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
身体が接触すると、感電する危険が増大します。
屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。
 - ◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のついた場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
 - ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
 - ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。
 - ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
 - ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
 - ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
 - ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関する危険を低減することができます。
 - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
 - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱っていない人に渡すと、危険です。
 - ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
 - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各 부품の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

安

全



e) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

- ◆ サービスマン以外の方は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。

f) その他

- 1) この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。
 - ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- 2) 製品本体および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。

記号について

本機には下記の記号が表示されています。
記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

安
全

| | |
|---|--|
|  | 交流 |
|  | クラスⅡ電動工具 |
|  | 電気用品安全法における特定以外の電気用品の基準適合表示 |
|  | けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください |
|  | ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください |
|  | ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください |
|  | リサイクル識別表示マーク(紙製容器包装) |
|  | リサイクル識別表示マーク(プラスチック製容器包装) |

安全上のご注意

安
全

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コード式電動工具全般についての注意事項

ここでは、コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

警 告

- **感電に注意してください。**
 - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- **加工するものをしっかりと固定してください。**
 - ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- **異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。**

<異常・故障例>

 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かない。 など

● **必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。**

◆ 表示以外の電圧で使用すると、事故の原因になります。

● **やむを得ず、湿気の多い場所で使用する場合は、漏電遮断器(RCD)を設置して給電してください。**

◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。

● **つなぎコードは、アース中断線を備えた3芯コードを使用してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**

● **必ずアース(接地)してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**

● **アース線をガス管に接続しないでください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**

● **作業中は電源コードが損傷したりもつれたりしないよう注意し、常に本体の後方に離してご使用ください。**

◆ コードが損傷したりもつれたりすると、感電や故障の原因になります。

● **作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。**

◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

● **先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。**

◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。

● **誤って落としたり、ぶついたりしたときは、電動工具本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

安

全

安

全

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。

- ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - 作業場所の換気に注意してください。
 - DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。

- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。

- ◆ 容易に発火する恐れがあります。

- 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。

- ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。

- 電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。

- ◆ 爆発の恐れがあります。


- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。

- ◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。

- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

- 安全上のご注意は、必ず守ってください。

- ◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

 **注 意**

- **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
 - ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
 - ◆ 材料や電動工具本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- **破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。**

この取扱説明書は、大切に保管してください。

安

全

バンドソーについての注意事項

安

コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。
ここでは、バンドソーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

全

警告

- 作業中は、のこ刃や回転部、切り粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。また、材料の下に手を入れないでください。
 - ◆ 近づけると、けがの原因になります。
- 保護カバーを開けたままでのこ刃を起動させないでください。
 - ◆ のこ刃に身体を巻き込まれたり、のこ刃が外れたりして、けがの原因になります。
- 使用中に振り回されないよう、電動工具本体を確実に保持して作業してください。
 - ◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。

注意

- 電動工具本体は、ぐらぐらしない安定性のよい場所に設置してください。
- のこ刃にひび割れなどの異常がないことを確認してください。
- のこ刃の張り調整を確実に行ってから、「メインスイッチ」を「入」にしてください。
- 作業前に、のこ刃を空転させ、電動工具本体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
- 材料に釘などの異物がないことを確かめてください。
 - ◆ のこ刃が異物に当たると、歯先が欠けたり、反発によりけがの原因になります。

● **曲がったり、摩耗したりしたのこ刃は使用しないでください。**

◆ のこ刃が破断したり、キックバックが発生したりする危険があります。

● **のこ刃やのこ刃取り付け部の切り粉などを、拭き取ってください。**

◆ 切り粉などが付着していると、のこ刃が外れたりして、けがの原因になります。

安

全

● **のこ刃を起動してからのこ刃を材料に当ててください。**

◆ のこ刃を起動してから当てないと、のこ刃が材料にかみ込み、キックバックが発生する危険があります。

● **作業中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**

◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

● **のこ刃の側面から、荷重を加えないでください。**

● **材料を押す手を、のこ刃の同一線上に置かないでください。**

● **切断中、のこ刃に強い力を加えないでください。**

◆ のこ刃が滑ったり、破断したりして、けがの原因になります。

● **作業中、のこ刃に注油しないでください。**

● **電動工具本体を作動させたまま、台や床などに放置しないでください。**

◆ 事故の原因になります。

● **作業中は、電動工具本体のテーブルの上に材料以外のものを置かないでください。**

● **作業直後ののこ刃や切り粉などは、高温になっていますので触れないでください。**

◆ やけどの原因になります。

● 材料にのこ刃を強くぶつけないでください。

◆ のこ刃が破損し、事故やけがの原因になります。

安

● 切断が終わったらスイッチを切り、のこ刃が完全に停止するまで待ってから本体を材料から離してください。

◆ このようにならないと、キックバックが発生する危険があります。

全

● スwitchを切った後、のこ刃の側面を押さえて止めないでください。

◆ のこ刃が破損・破断したり、キックバックが発生したりする危険があります。

● のこ刃に潤滑剤やオイルを付けないでください。

◆ のこ刃が滑る原因になります。

本製品について

用途

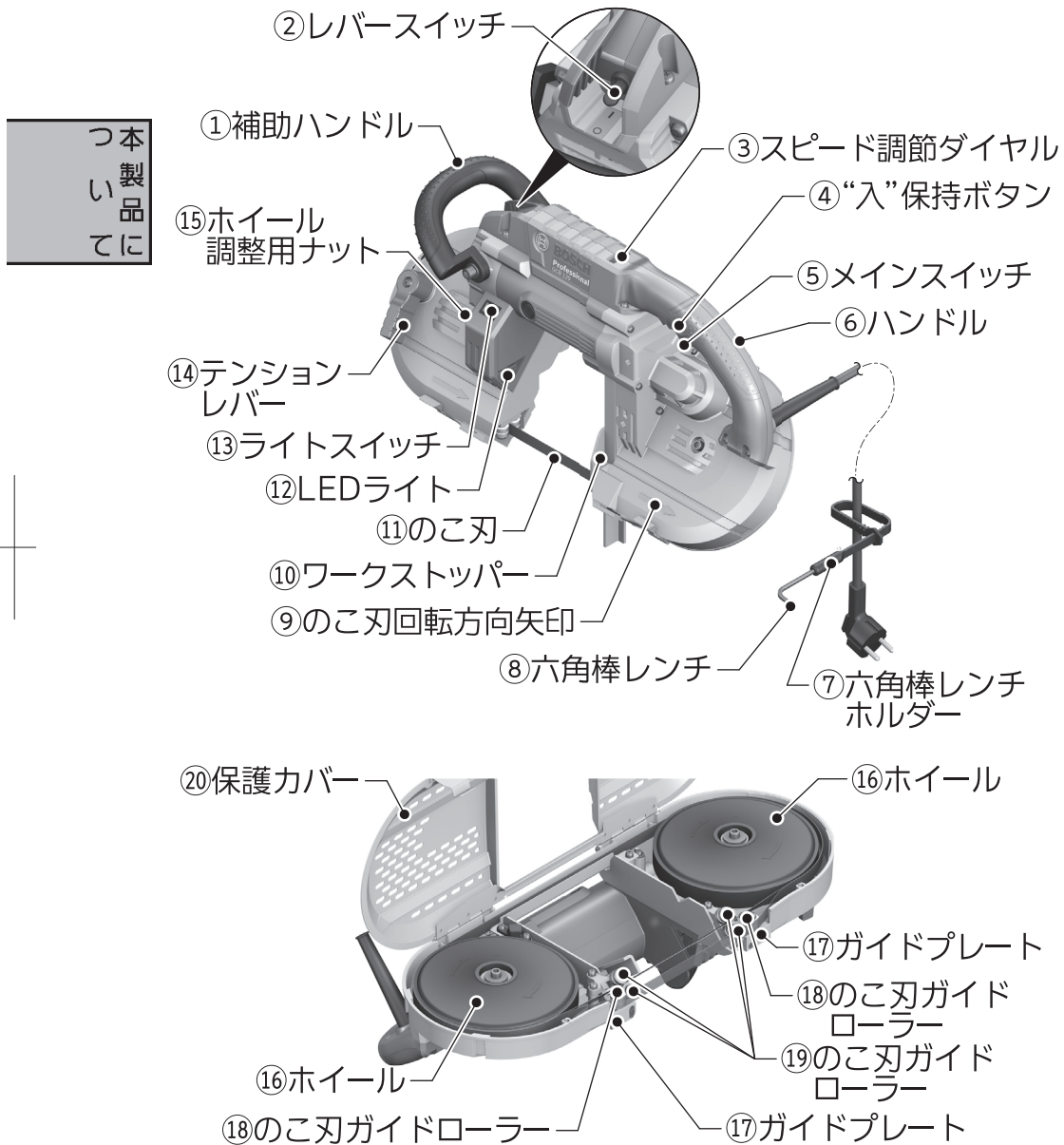
- ◆ 鉄・非鉄金属(軟鋼・アルミニウム・銅・ステンレス鋼・高炭素鋼)、ケーブル等の切断

本製品は、電動工具本体を携帯して自由切断や面一切断(際切り)が行えます。また、電動工具本体をベースに取り付けて固定切断が行えます。

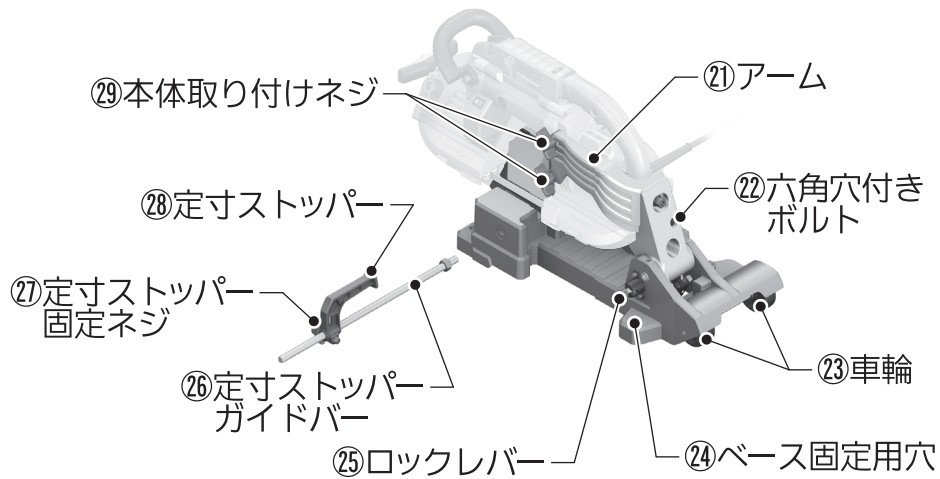
本製品について

各部の名称

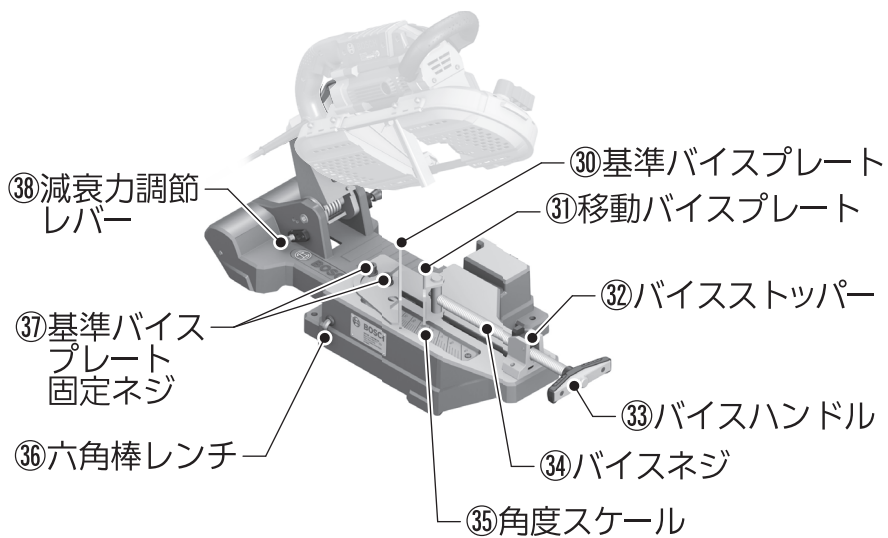
電動工具本体



ベース



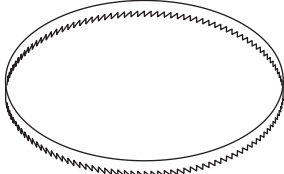
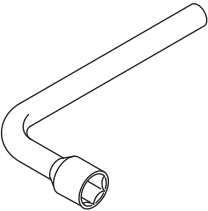
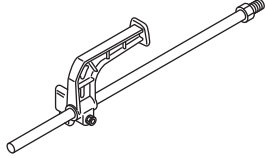
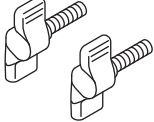
つ本
製
品
に



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

標準付属品

本製品にて

| モデル名 | GCB 120 | |
|---|---------|-----------|
| 型番 | GCB 120 | GCB 120 B |
|  のこ刃 | 1本 | 1本 |
|  L形レンチ | 1個 | 1個 |
|  定寸ストップパー | — | 1個 |
|  本体取り付けネジ | — | 2個 |

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕様

電動工具本体

| | | |
|----------------------------|--------------------------------|-----------|
| モデル名 | GCB 120 | |
| 型番 | GCB 120 | GCB 120 B |
| 定格電圧 | A.C.100V、50-60Hz | |
| 消費電力(入力) | 850W | |
| のこ刃回転速度(無負荷時) | 61~230min ⁻¹ (回転/分) | |
| のこ刃寸法(長さ×幅×厚さ) | 1,140×12.7×0.5mm | |
| 最大切断寸法 丸パイプ ◎ 角パイプ □ | φ120mm 120×120mm | |
| 質量*1 | 6.4kg | |
| 感電保護クラス | 回/Ⅱ | |
| 原産国 | 中国 | |

本製品に
ついて

*1 EPTAプロシージャー01/2014に準拠


ベース

| | | |
|--------|------------------|----------------------------------|
| 型番 | GCB 120 Base | |
| 最大切断寸法 | | |
| 0°(直角) | 丸パイプ ◎ 角パイプ □ | φ115mm 100×100mm 115×100mm |
| 45° | 丸パイプ ◎ 角パイプ □ | φ50mm 50×50mm 60×30mm |
| 質量*1 | 21.7kg | |

*1 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

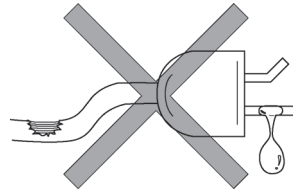
使い方

作業前の準備をする

-  **警告** ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店または、ポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。


● 使用電源を点検する

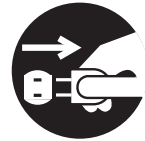
- 単相A.C.100V、50-60Hzか？
- 電源コンセント不良(ガタ)のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線したり、電源プラグが破損したりしていないか？







使
い
方

● のこ刃を取り付ける・取り外す

-  **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、のこ刃⑩を取り付けたり取り外したりするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

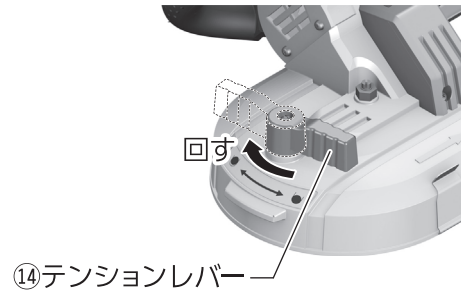


-  **注意** ◆ 作業直後ののこ刃⑩は高温になります。冷めてから、のこ刃⑩を取り外してください。
- ◆ のこ刃⑩は歯先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、革手袋を着用して扱ってください。
 - ◆ のこ刃⑩を取り付けたり取り外したりするときに、のこ刃⑩が飛び跳ねてけがをする恐れがあります。保護めがねを着用してください。

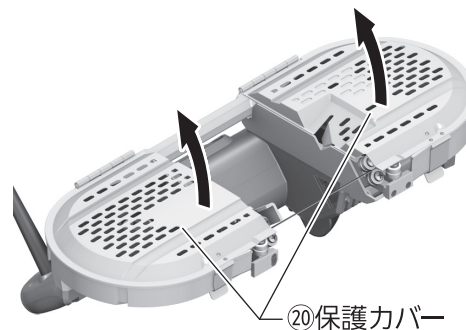
-  ボッシュ純正の指定されたのこ刃⑩を使用してください。
-  歯が欠けていたり、摩耗していたりするのこ刃⑩は使用しないでください。
-  のこ刃⑩を交換するときは、のこ刃⑩を取り付ける前に、電動工具本体やのこ刃⑩に付いた切り粉や汚れをきれいに取り除いてください。

取り付け

1. テンションレバー⑭を時計方向(矢印の方向)に180°回し、テンションを緩めます。



2. 保護カバー⑳のフックを外に引き、保護カバー⑳を両側同時に開けます。



使
い
方



注意

- ◆ 保護カバー⑳は左右一体になっています。片側だけ持って開けると、つなぎ部分がねじれて破損する恐れがあります。

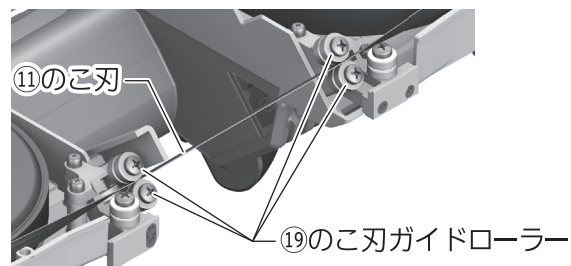
3. 切断方法に応じて、のこ刃⑪を取り付けます。

自由切断・固定切断するとき

のこ刃⑪を背側からのこ刃ガイドローラー⑲の間に挿入します。

☞ のこ刃⑪は背がのこ刃ガイドローラー⑲の奥(ベアリング)に突き当たるまで押し込んでください。

☞ のこ刃⑪の向きに注意してください。



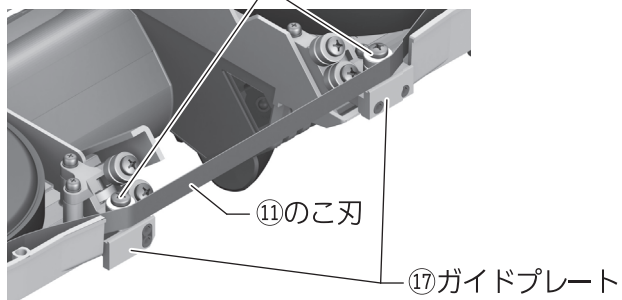
面一切断(際切り)するとき

のこ刃⑪を背側からのこ刃ガイドローラー⑱の前に挿入します。

☞ のこ刃⑪は背がガイドプレート⑰に突き当たるまで押し込んでください。

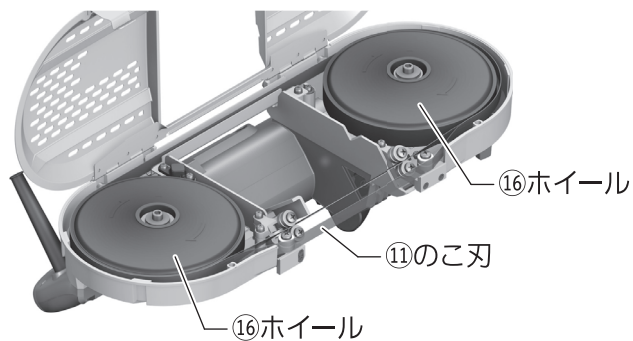
☞ のこ刃⑪の向きに注意してください。

⑱のこ刃ガイドローラー




4. のこ刃⑪が外れないように押さえながら、ホイール⑯にのこ刃⑪を掛けます。

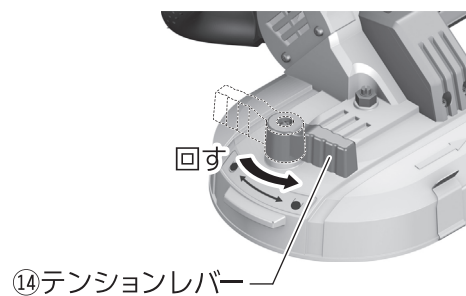
☞ 面一切断(際切り)する場合の位置にのこ刃⑪を取り付けるときは、自由切断・固定切断する場合の位置にのこ刃⑪を取り付けるときより、のこ刃⑪の遊びが少なくなります。そのため、のこ刃⑪を取り付けるときには、より力をかける必要がありますので、その際に歯先だけがをしないように注意してください。



5. テンションレバー⑭を反時計方向(矢印の方向)に180°回し、のこ刃⑪を張ります。

注意 ◆ テンションレバー⑭を“張り”に切り替えるときは、のこ刃⑪に手が挟まれないように注意してください。

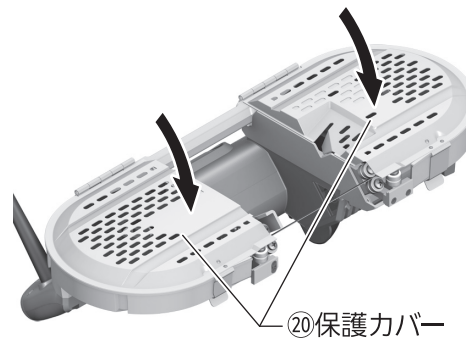
 のこ刃⑪を張るためにテンションレバー⑭を回すには、少し力が必要です。特に面一切断(際切り)する場合の位置にのこ刃⑪を取り付けるときは、テンションレバー⑭を確実に回してください。



使
い
方

6. のこ刃⑪がホイール⑩に正しく掛かっているか確認します。

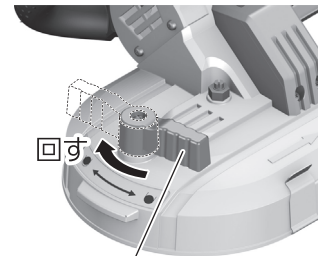
7. 保護カバー⑳を閉め、フックを掛けます。



8. 「メインスイッチ⑤」でのこ刃⑪の起動/停止を数回繰り返し、のこ刃⑪が正しく装着されているか確認します。
のこ刃⑪が安定して走行していない場合は、一度のこ刃⑪を取り外し、1項からやり直してください。

取り外し

1. テンションレバー⑭を時計方向(矢印の方向)に180°回し、のこ刃⑪を緩めます。



⑭テンションレバー

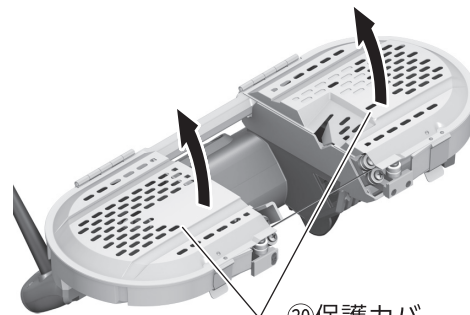


注意

- ◆ のこ刃⑪を緩めるときにテンションレバー⑭が勢いよく回ることがあります。指をけがしないように注意してください。

使
い
方

2. 保護カバー⑳のフックを外に引き、保護カバー⑳を両側同時に開けます。



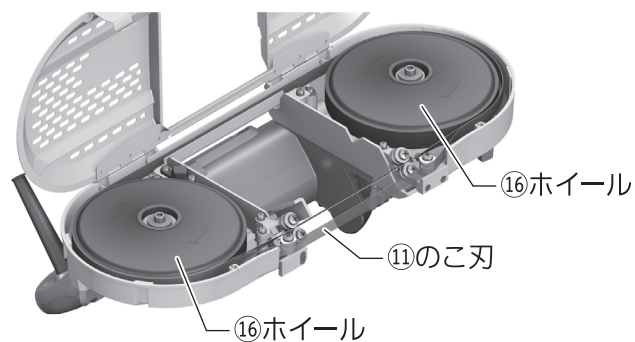
⑳保護カバー



注意

- ◆ 保護カバー⑳は左右一体になっています。片側だけ持って開けると、つなぎ部分がねじれて破損する恐れがあります。

3. のこ刃⑪をホイール⑯から外します。

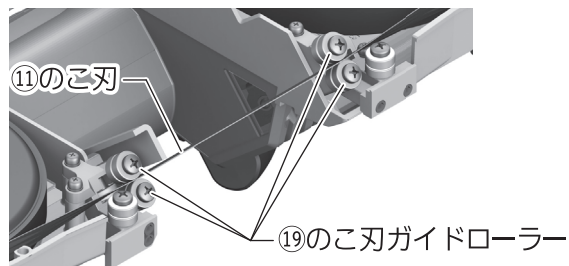


⑯ホイール

⑪のこ刃

⑯ホイール

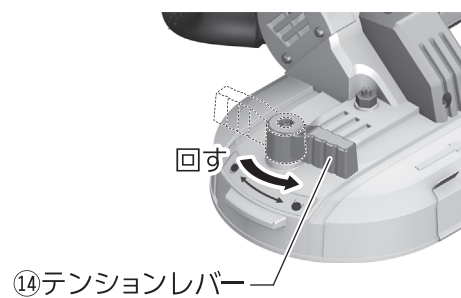
4. のこ刃ガイドローラー⑱(または⑲)からのこの刃⑩を引き出します。



5. 新しいこの刃⑩を取り付ける場合は、「取り付け」(21ページ)の3項～8項の手順で取り付けてください。

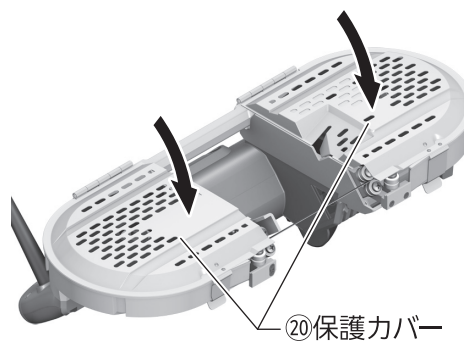
この刃⑩を取り付けない場合は、以下の手順に従ってください。

6. テンションレバー⑭を反時計方向(矢印方向)に180°回し、テンションを張ります。



使
い
方

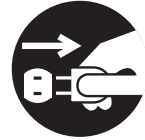
7. 保護カバー⑳を閉め、フックを掛けます。



● のこ刃の位置を調整する



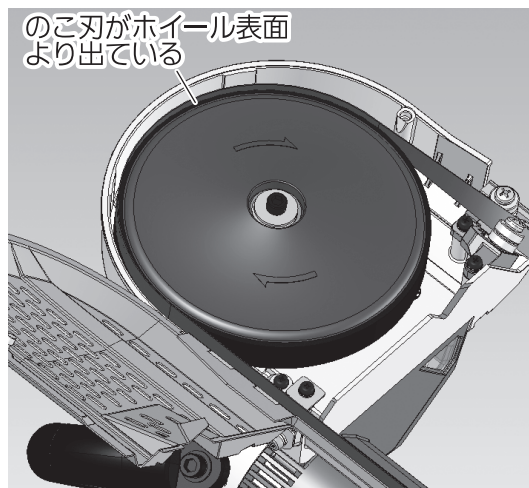
◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、のこ刃⑩の位置を調整するときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



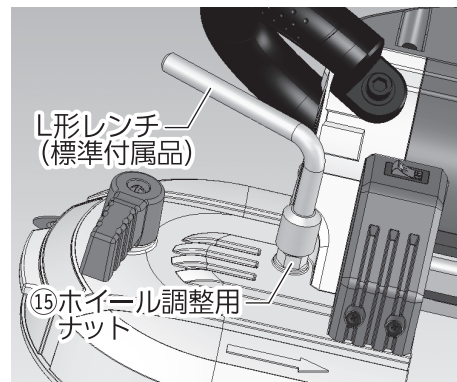
長時間使用すると、ホイールの摩耗により、のこ刃⑩が回転中にホイールからずれることがあります。のこ刃⑩がホイールからずれる場合は、ホイールの角度を調整してのこ刃⑩のずれを防ぐことができます。

のこ刃が従動ホイール表面から3mm以上出ている場合

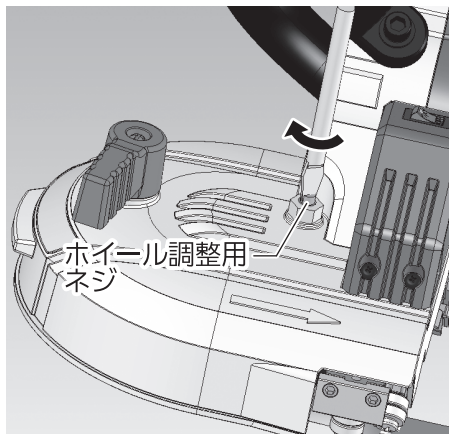
使
い
方



1. 付属のL形レンチでホイール調整用ナット⑮を緩めます。

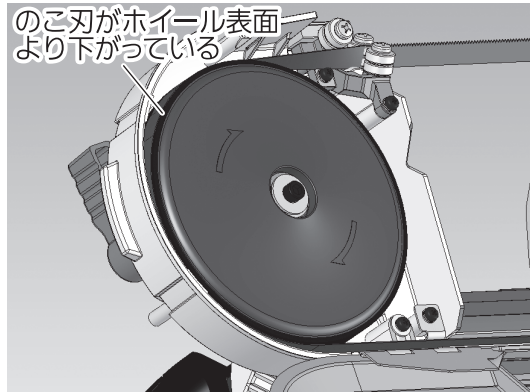


2. 「スピード調節ダイヤル③」を“1”
(最低速)にします。
3. のこ刃⑩を起動します。
4. マイナスドライバーでホイール調整用ネジを時計方向に回して、のこ刃⑩と従動ホイール表面の高さをそろえます。
5. のこ刃⑩を停止します。
6. L形レンチでホイール調整用ナット⑮を締めます。



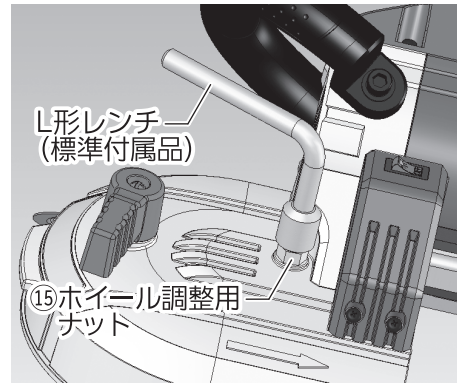
使
い
方

のこ刃が従動ホイール表面から3mm以上下がっている場合

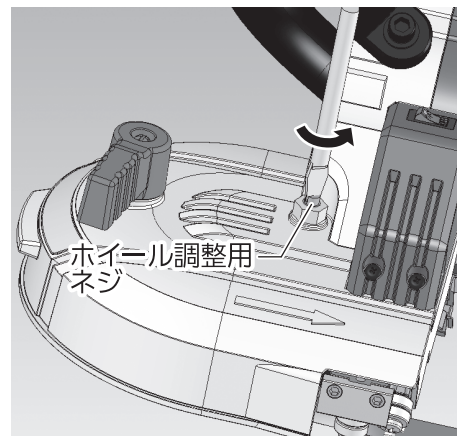


使
い
方

1. 付属のL形レンチでホイール調整用ナット⑮を緩めます。



2. 「スピード調節ダイヤル③」を“1”(最低速)にします。
3. のこ刃⑩を起動します。
4. マイナスドライバーでホイール調整用ネジを反時計方向に回して、のこ刃⑩と従動ホイール表面の高さをそろえます。
5. のこ刃⑩を停止します。
6. L形レンチでホイール調整用ナット⑮を締めます。



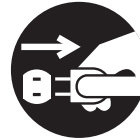
● 電動工具本体をベースに取り付ける

電動工具本体をベースに取り付けて固定切断作業をする場合は、ベースをワークベンチなどの水平で安定した場所に設置してから、電動工具本体をベースに取り付けてください。

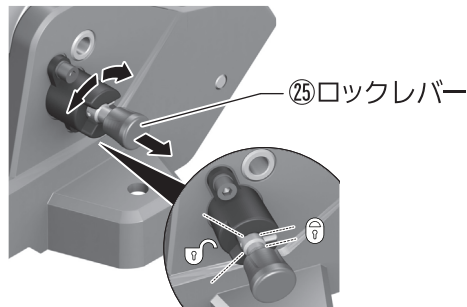


警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電動工具本体をベースに取り付けたり取り外したりするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ ベースの質量は21.7kgあります。運搬中に誤って落下させると、手や足を押し潰す恐れがあります。

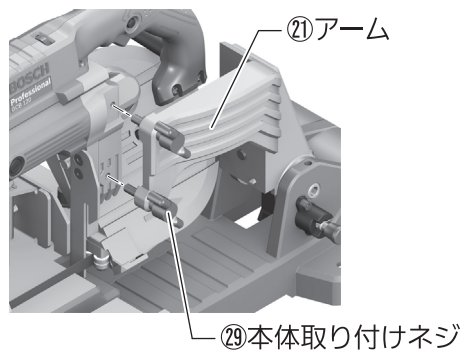


1. ベースのアーム⑳を、運搬位置(水平)にします。
運搬位置になっていない場合は、ロックレバー㉕を引き出し、アーム㉑を運搬位置にして、ピンを小さい切り欠きに入れてアーム㉑をロックします。

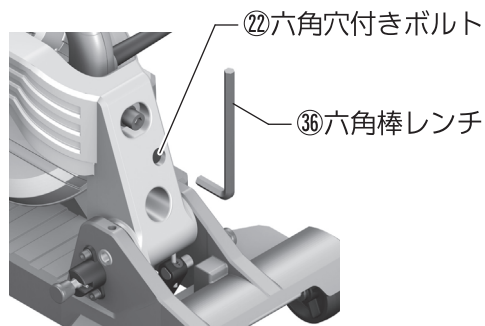


使
い
方

2. 本体取り付けネジ㉙(2つ)で、電動工具本体をアーム㉑に固定します。

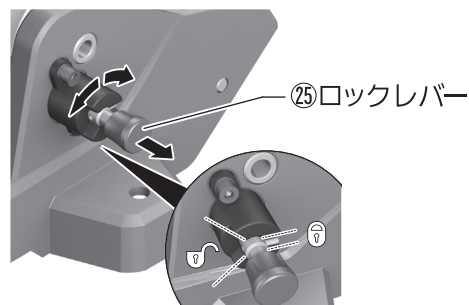


3. 六角穴付きボルト⑳を付属の六角棒レンチ㉔で締め付けます。



ベースに取り付けたまま電動工具本体を運ぶ

1. ベースのアーム㉑を、運搬位置(水平)にします。
運搬位置になっていない場合は、ロックレバー㉕を引き出し、アーム㉑を運搬位置にして、ピンを小さい切り欠きに入れてアーム㉑をロックします。



2. バイスを閉じ、バイスハンドル㉓をしっかり締めます。
3. バイスハンドル㉓を持ち、車輪㉒を使ってベースごと電動工具本体を作業場所に運びます。


使
い
方

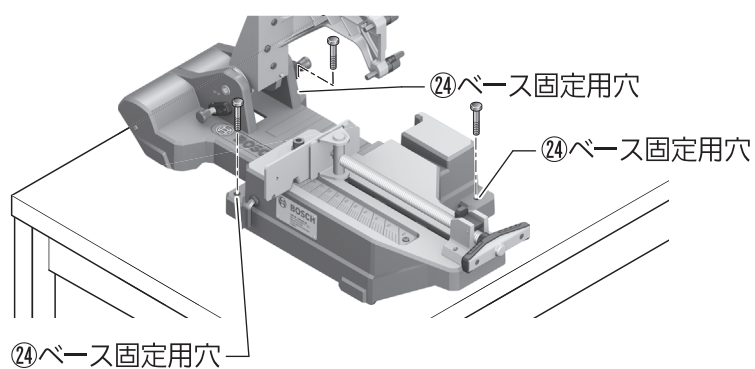
ベースを固定する場合



警告

◆ ベースの質量は21.7kgあります。運搬中に誤って落下させると、手や足を押し潰す恐れがあります。

1. ベースを水平で安定した作業面に置きます。
2. ベース固定用穴②4に合ったボルト (3本) で、ベースを作業面に固定します。
 ベース固定用穴②4は、ベース固定専用です。



使
い
方

作業する



警告

- ◆ 作業時は両手で電動工具本体を確実に保持してください。
- ◆ 材料をしっかり固定してから作業を行ってください。
- ◆ 保護カバー⑳を開けたままでのこ刃⑪を起動させないでください。のこ刃⑪に身体を巻き込まれたり、のこ刃⑪が外れたりする恐れがあります。
- ◆ 作業中に電動工具本体を強く押さえすぎたり、のこ刃⑪をこじるようにしないでください。
- ◆ のこ刃⑪にテンションがかかっている(のこ刃⑪が張られている)ことを確認してから作業を行ってください。

使 い 方



注意


- ◆ 作業時、電動工具本体は、軽く力を加えるだけで十分です。必要以上に強く押し付けると、のこ刃⑪を傷めて作業率が下がったり、電動工具本体が故障したりします。
- ◆ 新しいのこ刃⑪を取り付けた場合は、必ず試し切断をしてください。
- ◆ 熱軟化性プラスチックは切断しないでください。切断時の熱によって材料が溶けて、のこ刃⑪が材料に食い込む場合があります。
- ◆ 鉛を含んでいるコーティング、いくつかの種類木材、鋳物や金属、石綿などの材料から出る切り粉やほこりは、人体に有害です。切り粉やほこりに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応を引き起こしたり、呼吸感染症に至ることがあります。また、カシやブナに使用される木材処理添加物(クロム酸塩、木材防腐剤)は、発ガン物質と考えられています。身体に有害な切り粉などが発生する作業の場合には、防じん対策をしてください。

☞ 適切な切断スピードで作業してください。

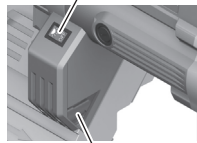
☞ 金属を切断する場合、切削オイルスプレーを使用すると、スムーズで早い切断作業ができるとともに、のこ刃⑪の寿命が延びます。

LEDライトをつける・消す

切断箇所が暗いときは、LEDライト⑫で照らすことができます。

「ライトスイッチ⑬」を“” (ON) にするとLEDライト⑫が点灯し、OFFにすると消灯します。

⑬ライトスイッチ



⑫LEDライト

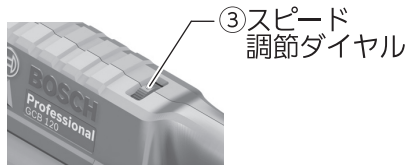
のこ刃の回転速度を調節する



注意

◆ 切断中は速度を変えないでください。電動工具本体が損傷したり、のこ刃⑪が破断したりする恐れがあります。

使用ののこ刃と切断材料に応じて、「スピード調節ダイヤル③」でのこ刃⑪の回転速度を調節します。「スピード調節ダイヤル③」を“1”にすると最低速になり、“6”にすると最高速になります。



③スピード
調節ダイヤル

「スピード調節ダイヤル」の設定

| 材料 | のこ刃の山数 (TPI=1インチ当たりの山数) | | | |
|-------------------------|-------------------------|-----|-----|-----|
| | 10山 | 14山 | 18山 | 24山 |
| 軟鋼、アルミニウム、銅、ステンレス鋼、高炭素鋼 | 6 | 6 | 5~6 | 5以下 |
| ケーブル | 6 | 6 | 6 | 6 |

使
い
方

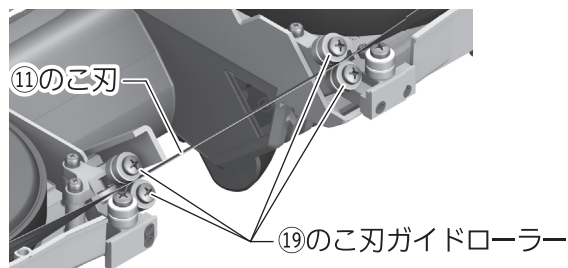
電動工具本体を持って自由切断をする



- ◆ 両手で電動工具本体を確実に保持し、足元をしっかりとってください。
- ◆ 作業中にのこ刃⑪をこじるようにしないでください。

① のこ刃⑪の取り付け状態を確認する

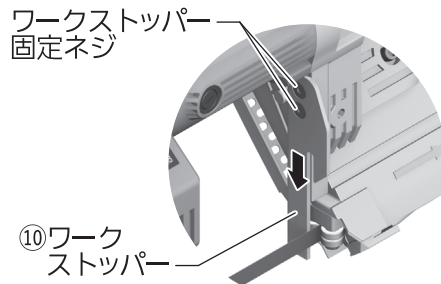
☞ 自由切断をするときは、のこ刃⑪をのこ刃ガイドローラー⑱の間に通します。



使
い
方

② ワークストッパーの位置を調節する

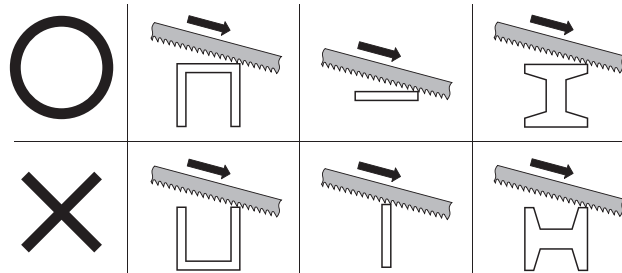
1. 付属の六角棒レンチ⑧でワークストッパー固定ネジを緩めます。
2. ワークストッパー⑩をいちばん下まで下げます。
☞ 材料の固定高さによっては、ワークストッパー⑩が作業面に当たり材料を完全に切断できない場合があります。そのような場合は、材料の固定高さに合わせて、ワークストッパー⑩の位置を調節してください。
3. ワークストッパー固定ネジを締め



3 材料を固定する

材料をクランプや万力などで、確実に固定します。

☞ のこ刃⑪の歯が2山以上材料の切断面にかかるように、材料の向きを選定します。



4 電源プラグを電源コンセントに差し込む

「レバースイッチ②」が下(○)になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

使
い
方

5 のこ刃⑪を起動する

☞ 電動工具本体を持って作業するときは、「メインスイッチ⑤」でのこ刃⑪の起動/停止を行ってください。



1. 「レバースイッチ②」を上(Ⅰ)にします。
2. 「メインスイッチ⑤」を引いて保持します。
スイッチを引き込んでいる間、のこ刃⑪が回転します。
3. 「“入”保持ボタン④」を押します。
「メインスイッチ⑤」がロックし、のこ刃⑪が回転し続けます。

のこ刃の停止

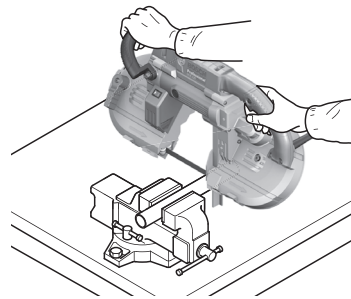
「メインスイッチ⑤」がロックしていないときは、「メインスイッチ⑤」から指を離すと、のこ刃⑩が停止します。

「メインスイッチ⑤」がロックしているときにのこ刃⑩を停止させる場合は、「メインスイッチ⑤」を引いて「入」保持ボタン④を解除し、その後「メインスイッチ⑤」から指を離します。

6 切断する

☞ 適切な切断スピードで作業してください。

1. ハンドル⑥と補助ハンドル①を確実に持ちます。
2. ワークストッパー⑩に材料を当てます。



3. ゆっくりとのこ刃⑩を材料に当てて切断します。

- ☞ のこ刃⑩の回転が鈍くならないように切断してください。無理に力を入れて強く押し込んでも早く切断できません。
- ☞ 切断終了間際に、電動工具本体を少し持ち上げるようにすると、切断した材料にのこ刃⑩が当たりません。

4. 切断が終わったらのこ刃⑩を停止させます。

- ☞ のこ刃⑩の回転が完全に止まってから、電動工具本体を床などに置いてください。

使
い
方

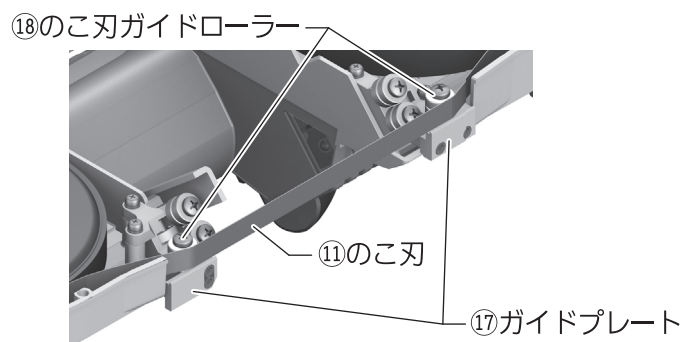
電動工具本体を持って面一切断(際切り)をする



- ◆ 両手で電動工具本体を確実に保持し、足元をしっかりとってください。
- ◆ 作業中にのこ刃⑪をこじるようにしないでください。

① のこ刃⑪の取り付け状態を確認する

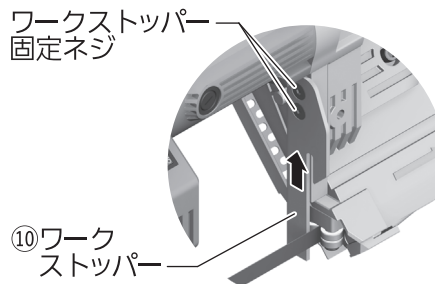
☞ 面一切断(際切り)をするときは、のこ刃⑪をのこ刃ガイドローラー⑱の外側に通します。



使
い
方

② ワークストッパー⑩の位置を調節する

1. 付属の六角棒レンチ⑧でワークストッパー固定ネジを緩めます。
2. ワークストッパー⑩を、作業環境に応じて適切な位置に設定します。
3. ワークストッパー固定ネジを締め
ます。



③ 電源プラグを電源コンセントに差し込む

[レバースイッチ②]が下(O)になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

4 のこ刃⑩を起動する

☞ 電動工具本体を持って作業するときは、「メインスイッチ⑤」でのこ刃⑩の起動/停止を行ってください。



使
い
方

1. 「レバースイッチ②」を上(↑)にします。
2. 「メインスイッチ⑤」を引いて保持します。
スイッチを引き込んでいる間、のこ刃⑩が回転します。
3. 「“入”保持ボタン④」を押します。
「メインスイッチ⑤」がロックし、のこ刃⑩が回転し続けます。

のこ刃の停止

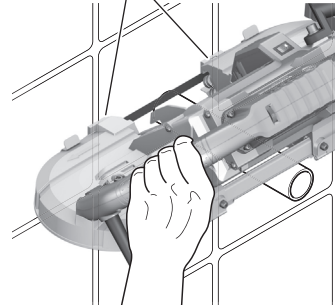
「メインスイッチ⑤」がロックしていないときは、「メインスイッチ⑤」から指を離すと、のこ刃⑩が停止します。

「メインスイッチ⑤」がロックしているときにのこ刃⑩を停止させる場合は、「メインスイッチ⑤」を引いて「“入”保持ボタン④」を解除し、その後「メインスイッチ⑤」から指を離します。

5 切断する

- ☞ のこ刃⑩の歯が2山以上材料の切断面にかかるようにします。
- ☞ 適切な切断スピードで作業してください。

1. ハンドル⑥と補助ハンドル①を ⑩ガイドプレート
確実に持ちます。
2. ガイドプレート⑩を壁に押し当て
ます。



3. ゆっくりと のこ刃⑩を材料に当てて切断します。
 - ☞ のこ刃⑩の回転が鈍くならないように切断してください。無理に力を入れて強く押し込んでも早く切断できません。
 - ☞ 切断終了間際に、電動工具本体を少し持ち上げるようにすると、切断した材料に のこ刃⑩が当たりません。
4. 切断が終わったら のこ刃⑩を停止させます。
 - ☞ のこ刃⑩の回転が完全に止まってから、電動工具本体を床などに置いてください。

使
い
方

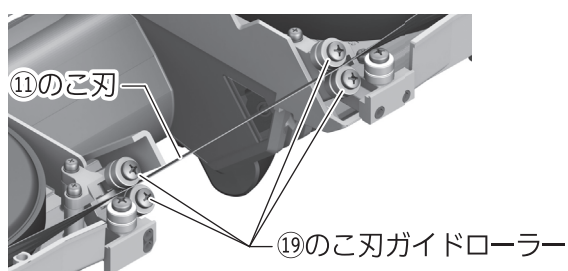
電動工具本体をベースに取り付けて固定切断をする



- ◆ 電動工具本体の前には立たないでください。常に電動工具本体の横に立ってください。
- ◆ 片手で補助ハンドル①を持ち、ゆっくりと切断してください。

① のこ刃⑪の取り付け状態を確認する

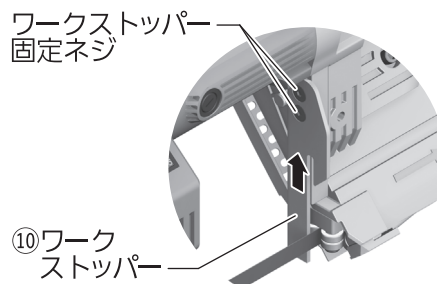
👁️ 固定切断をするときは、のこ刃⑪をのこ刃ガイドローラー⑱の間に通します。



使
い
方

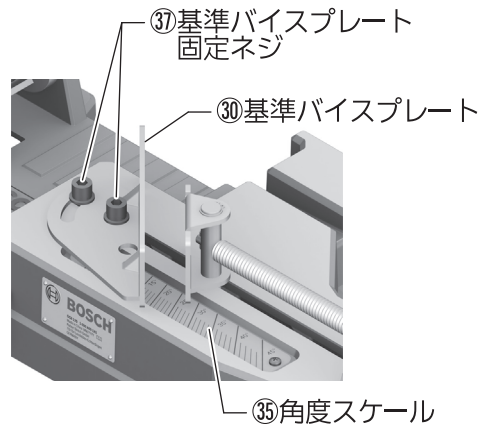
② ワークストッパー⑩の位置を調節する

1. 付属の六角棒レンチ⑧でワークストッパー固定ネジを緩めます。
2. ワークストッパー⑩をいちばん上まで上げます。
3. ワークストッパー固定ネジを締め
ます。



3 切断角度を設定する

1. 必要に応じて移動バイスプレート⑳を後ろに動かしてバイスを開きます。
 - ☞ バイスストッパー㉒を後ろに倒してバイスネジ㉔から外すと、移動バイスプレート㉑が自由に前後できます。
2. 付属の六角棒レンチ㉖で基準バイスプレート固定ネジ㉗を緩めます。
3. 角度スケール㉙に合わせて基準バイスプレート㉓を希望の角度に設定します。
 - ☞ 切断角度は0～45°の範囲で設定できます。
4. 基準バイスプレート固定ネジ㉗を締めます。



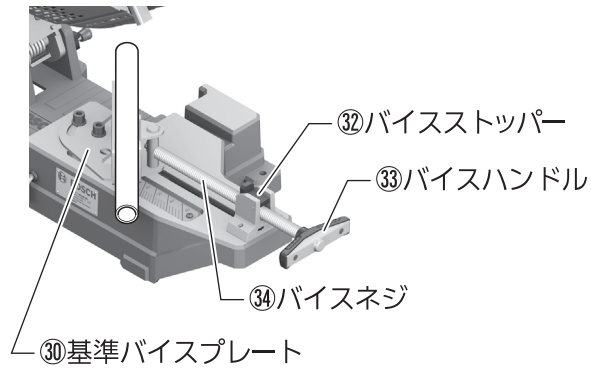
使
い
方

4 材料を固定する

- ☞ のこ刃㉑の歯が2山以上材料の切断面にかかるように、材料の向きを選定します。
- ☞ 小さくて固定できない材料は切断しないでください。
- ☞ 長い材料は、材料後部の下に台などを置いて支えてください。

1. 材料を基準バイスプレート㉓に当てて置きます。
2. 移動バイスプレート㉑を前に動かして材料を挟みます。

3. バイスストッパー⑳を前に倒してバイスネジ㉑に掛け、バイスハンドル㉒を回して材料をしっかり固定します。



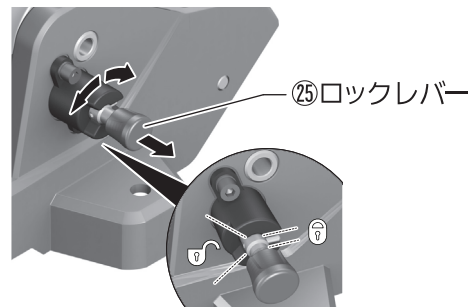
使
い
方

5 電源プラグを電源コンセントに差し込む

「レバースイッチ㉕」が下(O)になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

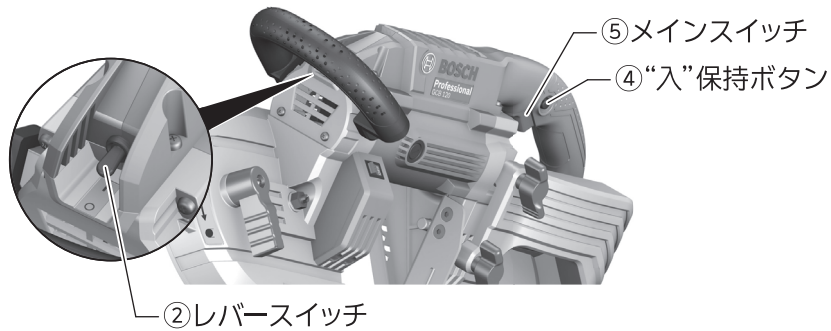
6 アームのロックを解除する

1. 補助ハンドル㉖を持って電動工具本体を支えます。
2. ロックレバー㉗を引き出し、回してピンを大きい切り欠きに入れます。



7 この刃⑩を起動する

☞ 電動工具本体をベースに固定して作業するときには、「レバースイッチ②」でのこの刃⑩の起動/停止を行ってください。



1. 「メインスイッチ⑤」を引きながら、「“入”保持ボタン④」を押します。
2. 「レバースイッチ②」を上(↑)にします。
この刃⑩が回転します。

使
い
方

この刃の停止

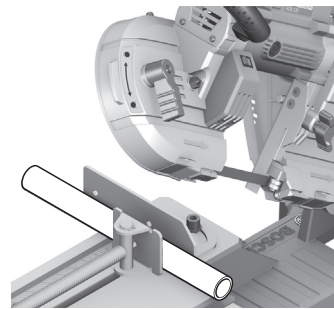
「レバースイッチ②」を下(↓)にするとこの刃⑩が停止します。

8 切断する

☞ 適切な切断スピードで作業してください。

1. ゆっくりとこの刃⑩を材料に当てて切断します。

☞ この刃⑩の回転が鈍くならないように切断してください。無理に力を入れて強く押し込んで早く切断できません。



2. 切断が終わったら「レバースイッチ②」を下(↓)にしてこの刃⑩を停止させます。

☞ この刃⑩の回転が完全に止まるまで待ってください。

3. 補助ハンドル①を持って電動工具本体をゆっくり上げます。

アームの減衰力を調節する

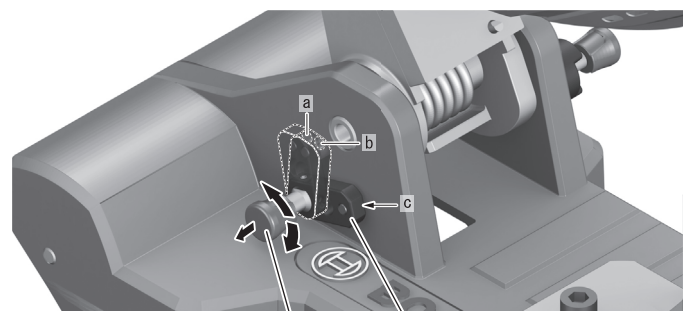
減衰力調節レバー③⑧を使用し、アーム②①のスプリング減衰力を調節できます。
減衰力調節レバー③⑧を引き出し、減衰力調節プレートのピンが希望の穴に入るように減衰力調節レバー③⑧を回します。

穴a:減衰力 強

穴b:減衰力 中

穴c:減衰力 弱

使
い
方



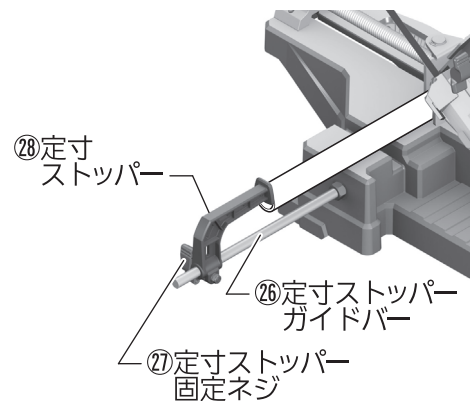
減衰力調節プレート

③⑧減衰力調節レバー

材料を同じ長さに切断する

切断角度が0°の場合、定寸ストッパー⑳を使用すると、容易に材料を同じ長さに切断できます。

1. 定寸ストッパーガイドバー㉔をベースのネジ穴に完全にねじ込みます。
2. 適切なサイズのスパナでナットを締めます。
3. 定寸ストッパー㉔を希望の長さに合わせ、定寸ストッパー固定ネジ㉗で固定します。

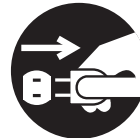


お手入れと保管



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて、お手入れしてください。



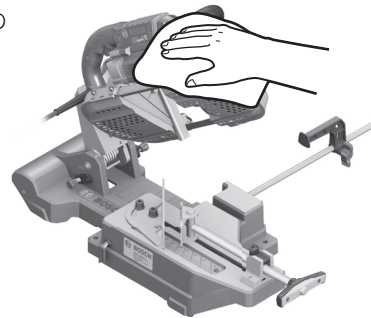
クリーニング

- 電動工具本体やのこ刃⑪などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

☞ 通風口から吸い込んだ金属の粉じんが電動工具本体内部にたまると、絶縁が損なわれる恐れがあります。

- 乾いた、柔らかい布で電動工具本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保
お
手
入
れ
と
管

のこ刃のお手入れ



注意

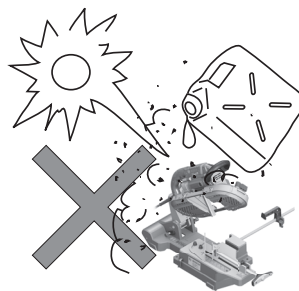
- ◆ のこ刃⑪は、歯先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、革手袋を着用してください。

- のこ刃⑪に付着した切り粉、ホコリを取り除く

保 管

● 使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- 長期間保管する場合は、のこ刃を取り外して保管してください。



保
お
手
入
れ
と
管

電動工具の廃棄について

電動工具本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

| 症 状 | 原 因 | 対 処 |
|-----------------------------------|-------------------------|--------------------|
| 「レバースイッチ②」と「メインスイッチ⑤」を入にしても、作動しない | 電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない | 電源プラグを電源コンセントに差し込む |
| | カーボンブラシが摩耗している | 修理を依頼する |
| | 電源コードが断線している | 修理を依頼する |
| 切断に時間がかかる | のこ刃⑩が摩耗している | のこ刃⑩を交換する |
| | 使用電源の電圧が低い | A.C.100Vの電源を使う |

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4
TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは

**プロ用電動工具・メジャーリングツール
保証サービス『PRO360』のご案内**

2022年4月より、弊社ホームページからユーザー登録をしていただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。
保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>